

## 研修委員会 2月例会報告

テーマ：「経営者、それぞれの想い」～全体パネルディスカッション～

株式会社 最上インクス 鈴木祐介

2月27日 於：城陽富士工業 株式会社

開催日時：2015年2月27日(金)

開催場所：城陽富士工業 株式会社

開催時間：19:00～21:30

コーディネータ：(株)万城製作所 佐藤氏

パネリスト 城陽富士工業 (株) 江森 正和 社長

(有) 八川製作所 八川 晃大 社長

(有) 山田工業 山田 昌司 社長

※パネリスト紹介 【別表1】

参加者：18名

研修委員会では6月例会では中村顧問より委員会テーマ「事業の承継と発展」のもと、ご講演頂き10月例会では元銀行マンの視点から決算書の見るポイント、銀行との付き合い方などを講演頂きました。承継するために必要な考え方、知識について学んだ6月、10月例会でしたが最後の例会としては事業を継承された社長様より事業継承される前、された後、今後の事業についてと大きく3つに分けてご自身たちが考え行動された経験談を主に話して頂きました。

今回の全体パネルディスカッションでは通常のパネルディスカッションの方式とは違い参加者が都度質問できるようにし、佐藤委員長の想いにもありました参加型の例会スタイルが出来たと思っております。参加者の皆様からは継承するに当たり、自分たちが思い悩んでいることをパネリストへ質問もして頂きました。

- ・社長と専務の差は大きい・・・気構え、決心、決断する、責任の重さの違い
- ・事業承継するにあたり知識がないなどの心配をするより、覚悟が必要
- ・自分自身がどうしたいか。それを行動に移しているか

社長に意見するだけでなく、その意見に対して自分自身が行動できているか社長が見ている点

本当に事業を継承する“覚悟”が出来ているかが重要な部分であると再認識させられました。

知識だけを増やす前に“覚悟”がなければ身にならず、自分自身の行動も変わらない。

自分では行動しているつもりであっても周りから“以前より変わった”と言われない限り本当の意味での“覚悟”が出来ていないと感じました。自分を評価するのは自分ではなく第三者である。

参加して頂いた会員様も色々と気づきがあった良い例会になったと思っています。

	城陽富士工業株式会社 江森 正和 社長	有限会社八川製作所 八川 晃大 社長	有限会社山田工業 山田 昌司 社長	
会社概要	・加工種別	切削加工	切削加工	製缶・板金・溶接加工
	主な製品内容	IT関連、航空機、食品関連、自動車、エネルギー関連	各分野の計測機器、半導体関連	工作機械・照明器具
	・従業員数	33名	5名、役員2名を含む	0人
会社沿革	・創業	1980年 2代目	1973年 2代目	2代目
	・事業拡張	HPをご参照ください	2011年11月 現在の新社屋を建設	特になし
	・特筆事項	HPをご参照ください	例会の中でお話します	『家業から企業へ』企業として 当たり前の事が出来る職場 環境づくりを模索中
本人略歴	・入社年	1992年	1996年	1998年
	・経営者となる 決断時期	機青連入会時	家業を継ぐと決め入社した時	
	・機青連歴	1998年入会 2008～2009年 代表幹事	1998年入会 副代表幹事	2013年入会 幹事1年目

【別表 1】

●全体ディスカッション 風景

